特集 敬老の日

上野敬老会（秦山ふれあいセンター）

ボランティアによる手品

敬老の日は、長年にわたり社会に貢献された老人を敬愛し、長寿を祝うことを目的に昭和４１年に制定されました。

始まりは、昭和２２年に兵庫県内の村が、「お年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」と、農閑期で気候も良い９月中旬の１５日に敬老会を開いたことが、全国に広がっていったものです。

■香美市の７５歳以上の人口（平成２１年９月１日現在）

	７５歳～９９歳	１００歳以上	合計
男	2，004	3	2，007
女	3，581	11	3，592
合計	5，585	14	5，599

■香美市最高齢

男　１０３歳

女　１０４歳

（平成２１年９月１日現在）

地域の敬老会

９月から10月にかけて、市内98会場で敬老会が行われる予定です。対象者は75歳以上（平成21年9月30日現在）の方です。敬老会は、地域の方により行われ、市から補助金（一人当たり1，500円）が支出されています。

五百蔵敬老会（暁霞地区公民館）

茜屋出雲流松京香による舞踊

おばあちゃんの一日

土佐山田町栄町在住の岡本綾美さん（92歳）は同敷地内で、４世代（息子夫婦・孫夫婦・ひ孫３人）の家族で暮らしています。

昨年８月までは一つ屋根の下で４世代家族で暮らしていましたが、子宝に恵まれ、双子のひ孫さんが誕生し、お孫さんが敷地内に新居を構え、現在は、息子さんご夫婦と３人で暮らしています。そんなおばあちゃんの楽しみは毎日ひ孫さんと遊ぶこと。おばあちゃんの一日をお話しいただきました。

ひ孫の百加ちゃん　綾美さん

おばあちゃんの一日は、家族との朝食から始まります。

朝食を終えると、食器を洗い、ひ孫さんの子守に向かいます。お母さんが家事をしている間、双子のひ孫さん侑祐（ゆう）ちゃん・百加（もか）ちゃん（1歳）と遊びます。

1時間ほど子守りをすると、自宅に戻り、読書を中心に過ごしています。おばあちゃんの読む本はすべて歴史物。テレビ番組も『水戸黄門』などの時代劇が好きだそうです。昼食の後も夕食の後も読書をしているというので、小さい字を見るのは疲れないのかな？と思って聞いてみると、おばあちゃんは本を読むときに老眼鏡をかけなくてもちゃんと読めるそうです（スゴイ）。

夕方になると、お母さんが保育園へ長女百桃ちゃんを迎えに行くので、再び子守に向かいます。この朝と夕方の子守がおばあちゃんにとって楽しみのひとときで、取材中も、ひ孫さんの話をしているときには自然と笑顔がこぼれていました。

規則正しい生活を送り、温かい家族に囲まれているおばあちゃんは、とても幸せそうでした。また、元気の秘訣を聞いてみると「取り越し苦労をしないこと」と話してくれました。

ひ孫と遊ぶのが楽しみです 92歳

岡本　綾美（あやみ）さん（土佐山田町栄町）

おばあちゃんの一日

６：００	起床
７：００	朝食
８：３０	お孫さんの家で子守
１０：３０	読書・テレビ
１２：００	昼食
１３：００	読書・テレビ
１６：００	お孫さんの家で子守
１８：３０	夕食
２０：００	読書・テレビ
２２：００	就寝

おばあちゃんへ家族からのメッセージ

お孫さん新居前でご家族と

お母さんへ
いつも笑顔で
元気でいてくださって
ありがとう
長生きしてくださいね

ひばあちゃんへ
また　いっしょに
じゃんけんして
あそぼうね

おばあちゃんへ
いつも笑顔のおばあちゃん
毎日子どもたちと
遊んでくれてありがとう
とても助かっています
これからも元気で長生きしてネ